

地殻ダイナミクス 熊本地震融合研究集会プログラム

1月5日(木) 9:00-19:00

場所:京都大学サテライト講習室(キャンパスプラザ京都 6階・第8講習室)

9:00-9:05	飯尾 能久	領域代表者	京都大学 防災研究所	趣旨説明
9:05-9:30	飯尾 能久	領域代表者	京都大学 防災研究所	平行する断層の意味について
9:30-10:10	松本 聡	B01	九州大学 大学院理学研究院	熊本地震のすべりと応力場
10:10-10:35	吉田 圭佑	A01	東北大学 大学院理学研究科	基盤観測網データから推定した2016年熊本地震震源域の震源分布・メカニズム解と応力場
10:35-10:45	休憩			
10:45-11:25	小林 健太	B01	新潟大学 理学部地質科学科	2016年熊本地震の構造地質学的背景
11:25-11:50	大橋 聖和	B02	山口大学 大学院創成科学研究科	断層の運動方向の変化 その原因と結果 布田川断層のケース
11:50-12:15	佐藤 活志	公募	京都大学 大学院理学研究科	別府湾地域の第四紀応力変遷史
12:15-13:05	昼食			
13:05-13:30	大坪 誠	A02	産業技術総合研究所 地質情報研究部門	九州中部の中～長期的なテクトニックバランス
13:30-13:55	向吉 秀樹	B01	島根大学 大学院総合理工学研究科	阿蘇カルデラ西方地域で確認された東西走向の亀裂群
13:55-14:20	吉田 武義	A02	東北大学	カルデラ構造、関連した断層、と広域テクトニクス
14:20-14:45	宮川 歩夢	A02	産業技術総合研究所 地質情報研究部門	重力構造からみる阿蘇山のマグマ溜まりと熊本地震の破壊伝搬
14:45-14:55	休憩			
14:55-15:20	西村 卓也	C01	京都大学 防災研究所	西日本のひずみ集中帯とブロック断層モデル
15:20-15:45	加藤 愛太郎	B01	東京大学 地震研究所	2016年熊本地震発生前に見られた前震活動域の拡大
15:45-16:10	深畑 幸俊	A02	京都大学 防災研究所	InSARデータのインバージョン解析による熊本地震の滑り分布の推定
16:10-16:35	安藤 亮輔	C01	東京大学 大学院理学系研究科	熊本地震の動的破壊過程とテクトニック条件
16:35-16:50	芝崎 文一郎	C01	建築研究研究所 国際地震工学センター	熊本地震後の粘弾性緩和過程のモデル化に関する計画
16:50-17:00	休憩			
17:00-19:00	熊本地震融合研究及び鳥取県中部地震に関する議論 まとめ役:松本 聡、小林 健太			